



みみよい

86

発行日/2026 年 8 月 24 日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

ごあいさつ

坪井 順子

熊本県での地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。きこえない・きこえにくい方や手話・要約筆記等、関係者の皆さまが、避難生活の中で不安な思いをされていることと思います。今年は台風も何度も日本に接近し、各地で被害が発生しています。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。「災害は忘れた頃にやってくる」といわれます。今一度、避難経路や家族との連絡方法、情報を得る手段、備蓄品などを確認し、日頃から災害への備えを進めていきたいと思ひます。

また、堺市では、利用者、手話通訳者、要約筆記者の安全を考慮し、大雨特別警報、暴風特別警報、暴風警報が発令された場合は、派遣を中止しています。その際、予定していた派遣の日程変更などをお願いする場合があります。みなさまの安全を第一に考えての対応となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



退職職員ご挨拶：徳谷

猛暑の折、みなさまにおかれましては暑さに負けずご活躍のことと思ひます。私事で恐縮ですが、7月末で退職することとなりました。在職中は皆さまには温かく支えていただき、心より感謝しております。今後は、ここで学んだことを生かしていければと思ひております。本当にありがとうございました。

新規職員ご挨拶：山田

8月より主に要約筆記の派遣・研修を担当させていただきます、山田です。前任の背中を追いながら、情報保障の懸け橋となれるよう努めたいと思ひます。未熟故に勉強になることのほうが多い今日このごろですが、みなさまのご協力とともに頑張りたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いいたします。

開催事業報告



《もじサロン（筆談会・わいわいおしゃべり会）》



6/20(土)のもじサロンは、年に2回開催している要約筆記を利用したおしゃべり会。昨年に続き、ご自身の地域でも難聴者のおしゃべり会を主催している Link の大坪健二さんを司会進行役にお招きし、6名の方の参加がありました。

自己紹介では「最近の嬉しい出来事」を話すことになり、それぞれの明るい話題に話す側も聞いている側も自然と笑顔に。後半のテーマは2つ。ひとつ目は、働く上での工夫や、同僚や上司たちの理解や配慮について。勤務中、特に3人以上の会議などが聞き取りにくい場面があります。「マイクを使って欲しい」とお願いしても使ってもらえず、辛い思いをしたと話して下さった参加者も。聞き漏らした時は、仲の良い同僚に後から教えてもらうという人が数名おられました。「助け合える」ことは良いことですが、他の人と同時に情報を受け取れないことが、職務上マイナスになると問題ですね。ふたつ目は、要約筆記の利用について。参加者の利用経験はまちまち。利用したことがある人は「正しく漏らさず情報を受け取ることができた」ことに感銘を受けたとお話しされ、利用経験のない人は興味深く聞き入り、制度についての質問も出ました。病院では、音声変換アプリを使ったり、PCに文字を打ち込んで説明してくれる医師もいます。どんな方法でも、「本人とコミュニケーションをとるために【双方にとって】必要なもの」と理解してくれる人が一人でも増えてくれることを望みます。

7月のもじサロンは2名の参加がありました。暑い夏に気をつけていることや、普段のお買い物について雑談しました。生活ペースやスタイルが多様なのがおもしろく、時間はあっという間に過ぎました。

《みみサロン》



7月18日(土)、淡路島出身のろう者・柏木 智之氏をお招きして「みみサロン」を開催しました。参加者は約30名でした。

柏木氏は淡路島の小さな村で生まれ、幼いころから周囲にきこえないことを理解してもらえず、母と二人でつらい思いをしながら成長しました。学校では口の動きを読む「口話」が中心で、手話を学ぶ機会はありませんでした。淡路島の聾学校は中学部までしかなく、高校からは神戸市の聾学校に進学しました。そこで初めて手話と出会い、自分の気持ちをしっかり伝えられる言語があることを知ったそうです。

今回の講演では、生い立ちを描いた絵本を使いながら、家族との関係、学校での経験、言語を得るまでの苦しさ、そして手話を手に入れてからの変化をわかりやすい手話で語ってくださいました。参加者からは「きこえない人の生い立ちを知り、背景がよくわかった」、「同年代の人がこんなに苦しい思いをしていたことにショックを受けた」、「この話をきこえる学校でも伝えてほしい。人の痛みを知るきっかけになる」などの感想が寄せられました。絵本というやさしい表現ツールを使いながらも、柏木氏の人生が持つ重いテーマは多くの人の心に残り、手話の大切さを改めて感じる時間となりました。

《保護者学習会＆中高生セミナー》



左から箱山さん、松本さん、茜谷さん

7月25日(土)に保護者学習会＆中高生セミナーを開催しました。毎年、この時期に近畿ろう学生懇談会(近コン)の会員である大学生・専門学校生に受験時や進学先での工夫や体験などをお話しいただいています。今回は、3人の現役の学生さんが来てくださいました。

ECC アーティスト美容専門学校美容科2年の松本彩香(まつもと さやか)さんは、近コンの仲間との出会いや魅力、楽しいイベントについてお話しくださった後、学生生活における自分のきこえについて『『わかってくれるだろう』ではなく『こ

とばにする』ことが大事』と語ってくださいました。2人目は、愛媛大学 理学部の茜谷 優菜(あかねや ゆうな)さん。学校探しから大学での情報保障について、またアルバイトや一人暮らしの経験を通して困ったこと、そこから工夫して「自分から動いて伝える」ことの大切さをお話しいただきました。3人目は箱山達夢(はこやま たつむ)さん。生い立ちを通して、「私は私。自分らしく生きるのが大切」と気づき、価値観や夢を大切にしながら自分で人生を選択していきたいと話しておられました。

3人ともとてもお話がお上手で、自分のこと、将来のことをよく考えておられることに参加者だけでなく、職員も含め会場全体が尊敬の眼差しでした。普段から自分のきこえについて自ら動き、先生や友達に話しているからこそ、自分自身についてしっかり伝えられるのだと思いました。3人とも共通して仲間と環境に恵まれたと感謝されていましたが、仲間にも好かれるお人柄と積極的に自分から環境を整える姿勢や工夫が今の環境を作り上げているのだと感じます。実はたくさん努力し、大変なことも多いはずなのに、それを感じさせず学生生活をエンジョイしている姿に温かい気持ちになりました。参加者からも「先輩たちのように、自信を持って自分の道を歩いてほしいと強く思った」、「勇気を持って何かに取り組むこと、伝えることの大切さに改めて気づかせてくれた」、「体験談はとても学びになった」と感想をいただきました。素敵なお話をしてくださった松本さん、茜谷さん、箱山さん本当にありがとうございました。

お試しください！ ウェアラブルスピーカー



音を振動で受け取ることができるウェアラブル(身に着けられる)スピーカーfuiigo(フイーゴ)を、開発された企業さんからお借りしています。ビデオライブラリーのお部屋でお試しいただけますので、興味のある方はご連絡ください。

胸に当たる部分が音に合わせて振動するのですが、特に20Hz(ヘルツ)～120Hz 付近の低音への反応が強く、映画やゲーム等の臨場感が高まります。また、肩口に高音質のスピーカーがあり、補聴器や人工内耳できこえる方であれば、音に包まれる感覚を体験していただけるかもしれません。

現在、より振動を感じやすくなるモデルも制作中とのこと。デモ機が完成次第、届けていただく予定です。どうぞお楽しみに！

「知る」・「伝える」を助ける Deaf Navi

聴覚障害に関連する情報を得たいとき、みなさんはどうしていますか？ インターネットで検索したり、情報サイトにアクセスしたりするのがちょっと面倒…という方は、『Deaf navi(デフナビ)』を試してみませんか？ Deaf Navi は、聴覚障害に関するニュースのほか、イベント情報、相談機関の情報などが見られるアプリです、また、コミュニケーションボードやチャット機能も備わっていて、周囲の人に何かを伝えたいときにも使えます。「音検知」の機能も備わっているので、出先でのサイレンの音などに気づきやすくなります(すべての音を検知できるわけではありませんので、補助的にご利用ください)。現状、iOS(アイフォン)の方しか利用できませんが、興味のある方はダウンロードしてみてください。



手話奉仕員・通訳者養成講座

登録通訳者をめざして！

8月中旬から12月の登録手話通訳試験に向けた対策講座が始まりました。手話通訳者はまだまだ不足している中、少しでも多くの登録者を増やしたいです。11月からの市民向け手話講座(秋コース)も準備を進めています。

要約筆記者養成講座

暑さに負けず！

8月は夏休みを挟み22日より講座が再開します。実技の内容は難しくなっていきますが、仲間とともに一緒に楽しく、時に励まし合いながら学んでいって欲しいと思います。
暑い中ですが、頑張りましょう！

センター(聴覚)の行事

※行事はすべて事前申込が必要です。

9月10日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

9月11日(金) 13:30~16:30

補聴器相談

9月19日(土) 14:00~16:00

みみサロン

「字幕付き映画体験会」

10月 8日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

10月 9日(金) 13:30~16:30

補聴器相談

10月 24日(土) 14:00~16:00

保護者学習会

「私の子育て」

同時開催：こどもの交流会

お申し込み、お待ちしております。



ビデオライブラリーのおすすめ

「ダーウィンが来た！

多摩川のアイドル イタチ子育て大追跡！」

多摩川で暮らすニホンイタチを追う、動物カメラマンの平野伸明さん。警戒心が強いイタチの世界初映像に挑戦します。大雨による増水など、苦労の末に発見した子育ての現場は、研究者も驚く意外な場所でした。映像から少しずつわかってきたイタチの生態と子育てに迫ります。

「ハートネットTV #ろうなん 4月号

能登半島地震から3か月 ろう者・難聴者は今」

2024年1月1日に発生した能登半島地震から3か月。奥能登地域に暮らすろう者・難聴者と、その支援者の行動を追いながら、見えてきた課題について話し合います。避難所での孤立を招くバリアと、その改善に向けた石川県の取組とは。

頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済

- ・要約筆記者実践研修 7/10
- ・手話通訳者実践研修 7/22
- ・手話通訳者実技研修 8/5
- ・手話通訳者更新研修 8/7、8

- ・要約筆記者実技研修(PC・手書き) 8/25・9/18
- ・要約筆記者実践研修 9/5 「事前準備と資料の使い方」
- ・手話通訳者実技研修 9/9 「手話翻訳」
- ・合同研修 9/29 「問いかけが、心の余白をつくる」

センター(聴覚)の情報はこちらから



Instagram



YouTube



LINE

きこえる方のLINE登録はご遠慮ください

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
6月	派遣数	229件	13件	10件	3件	5人	21本
	派遣人数	232人	35人	25人	11人	新規登録者：1人	
7月	派遣数	216件	14件	15件	9件	5人	23本
	派遣人数	224人	26人	25人	32人	新規登録者：0人	

ご協力
ありがとうございました

